

# 計数機検査がスタート 推進機構、各団体へ周知要請

一般社団法人遊技産業健全化推

進機構（河上和雄代表理事）は3月16日、11年度から新たに始める計数機検査の実施方法を各社員団体に宛てて、現場でトラブルが起きないよう、所属組合員（会員）ホールへの周知徹底を要請した。

計数機検査は07年4月から行っている遊技機検査と同様、機構の趣旨に賛同して誓約書を提出したホールの中からランダムに選択して行う。検査方法は、①ホールのお客様と同様に実費を払って玉（メ

ダル）を借り、機構の計数皿で計

数した後、当該ホールの検査対象となった計数機で計数する。②1台の計数機に対して玉（メダル）数を変更して3回（例、玉1000個、2000個、3000個）の計数を行う。③3回のうち1回でも機構の計数皿と検査対象計数機の結果が食い違った場合は再検査を行う。

④検査結果は検査チェック表に記載し、明らかに計数が食い違っていた場合はホールの立ち会い者に「計数機修理要請書」を渡す



⑤検査結果等は当該都道府県警及び警察庁へ報告される。⑥正常な結果が出た場合は立ち会い者に「検査終了確認書」を渡し、後日、代表者に「検査結果通知書」を送る——となっている。

遊技機と計数機を同時に検査することはない。検査に入る前に検査対

象計数機の内部に玉（メダル）が残っていないか確認するために、ホッパー部を開けレール等を確認するが、その際、目視点検と写真撮影を行う。検査員は2人以上で、計数機検査である旨をホールに告げる。ホール側から機構本部への電話確認、検査員の専用ジャンパー着用、身分証明書の携行は遊技機検査と変わらない。ホール立ち会い者には、検査の証明のため検査チェック表にサインを求めますが、サインを拒否すると立入拒否と同様の扱いとなる。

## 健全化推進機構臨時総会

### 1800店舗を目標

#### 11年度、計数機検査も

一般社団法人遊技産業健全化推進機構は3月15日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで臨時社員総会を開き、11年度の事業計画を承認した。機構の趣旨に賛同して誓約書を提出したホールへの立入検査は、全国1800店舗での実施を目標に設定した。10年度は目標の全国2800店舗に対して3200店舗（目標比117%）前後の実績が見込まれているが、11年度は初めて計数機の

検査を重点的に行うこと、悪質・巧妙化している遊技機の不正改造に対処するため時間をかけた遊技機検査を行なうことなどから10年度実績より低く目標設定された。

また、情報公開及び業界内外へのPR活動の中で、新規事業として各社員団体へ不正情報の公開を可能な限り行うことになった。

機構を運営するための11年度の予算4億2000万円と、社員14団体（全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、自工会、補給組合、メダル工業会、同友会、余暇進、PCSA、認証協、PSA）の負担が承認された。

なお、臨時総会とそれに先立つ理事会で、東北地方太平洋沖地震での業界の対応について協議され、①被災された方々に対し業界として可能な限りの支援活動を実施するべき。②とくにホール側として原発事故による電力供給不足や計画停電等を踏まえ、それぞれ節度ある営業を実施すべき——との意見があり、その後のホール5団体会議、翌16日のパチンコ・パチスロ産業21世紀会の議論に引き継がれた。

# 使い捨てライター規制 9・27施行、今一度確認を

昨年10月号で紹介のとおり、2010年12月経済産業省より「消費生活用製品安全法施行令の一部を改正する政令」(2010年12月27日)が施行され、今年9月27日をもって経過措置期間が終了します。これにより、

基準を満たしたライター(PSシールの貼られたライターのみ。CRシールは不可)以外は市場で販売できなくなります。

特定のライター(使い捨てライター全てと注入式だがプラスチック製で「使い捨て」型に似た汎用品)が規制の対象となるとともに、9月27日以降は技術

大量の景品ライターを流通させている遊技業界として、子供のいたずらによる火災を防ぐためにも、規制対象商品の処分方法など、今一度ご確認をお願いいたします。

## 社会貢献・環境対策委員会

### 不正対策室会議

## 直撃ゴト対応で討議

PCから増、携帯から減

不正対策室会議(室長・伊東愼吾日遊協常務理事)は3月7日、日遊協本部会議室で開かれ、PSIO(不正対策情報機構)への入力状況が報告され、ゴト、不正情報について討議された。PSIOオープンネット(業界、一般から

の不正情報)へ2月の入力は、パソコンから165件で昨年2月に比べ31件増え、携帯からは445件で昨年比9件マイナスとなった。携帯からの情報が前年同期を下回るのは、携帯受付がスタートしてから初めて。パソコンからは、最近減少傾向にあったが、今回は増えているのも異例だ。ゴト情報では、少し落ち着いてきたものの相変わらず「電波発射

機による直撃ゴト」が全国的に見られ、ホールでの監視を強化する以外にないことが確認された。不正情報では相変わらず、玉の出具

合を遠隔操作とするものが多く、遊技機やホールへの不信感が続いている。また開店中の、従業員の挙動を問題にする入力も多い。

### 登録資格審査委員会

## 新規登録5業者を承認

遊技機販売業者の平成22年度第3回登録資格審査委員会(委員長・

深谷友尋日遊協会

00台を満たさないため保留(今後1年間の実績を見守る)とした。

長)は3月2日、日遊協本部会議室で開かれた。新規登録申請5業者(全

APRIL

商協関係2、回胴遊商関係3)を承認した。また、更新登録申請108業者のうち107業者(全商協関係48、回胴遊商関係52、日工組関係4、日電協関係3)を承認した。

更新登録申請をした残りの1業者(回胴遊商関係)については、過去1年間の販売実績が3

### 4月の行事予定

8日(金)	10:00~16:50	遊技機取扱主任者講習・更新(都市センターホテル)
11日(月)	14:00~	ホール5団体代表者会議
12日(火)	13:00~	広報委員会
	15:30~17:30	経営改革委員会
13日(水)	10:00~17:00	遊技機取扱主任者講習・新規(都市センターホテル)
	13:00~	貯玉補償基金理事会
14日(木)	10:00~16:50	遊技機取扱主任者講習・更新(都市センターホテル)
18日(月)	14:30~	連絡会議(グランドアーク半蔵門)
	11:00~14:00	北海道支部拡大(エルム・サッポロ)
19日(火)	14:00~14:45	九州支部総会(福岡県遊協)
22日(金)	13:30~	不正対策室会議
27日(水)	13:30~	セキュリティー対策委員会(予定)
28日(木)	11:00~	監事監査
	13:30~	支部事務所長打ち合わせ
	15:00~	支部事務所長会議

●本社移転

▼株式会社サミィデザイン  
〒170・0013

東京都豊島区東池袋3丁目13番2号  
住友不動産東池袋ビル6階

TEL03・6890・0777  
FAX03・6890・0770

●代表者選任

▼株式会社京楽

代表取締役社長・伊藤康彦  
代表取締役社長・河方洋(新任)

●2月25日

▼株式会社ユニバース

代表取締役・桑本真  
代表取締役・安田義幸(新任)

●3月7日

▼三宝商事株式会社

代表取締役社長・樋口益次郎  
●3月10日

●新規入会員(賛助会員)

▼株式会社ワークス

代表者・鈴木成太郎  
横浜市神奈川区台町13・8  
シェリーヒルズ横浜2F

▼東テック株式会社

代表者・長尾克己  
東京都中央区日本橋本町4・8・19  
東京建物第3ビル3F

▼有限会社アクシス

代表者・江野正和  
さいたま市南区別所6・16・3  
以上、3月17日

警察人事

千葉県警人事(2月8日) 警務部参事官兼厚生課長(風俗保安課長)鈴木政則▽風俗保安課長(理事官兼警務課代理)佐藤剛

鹿児島県警人事(2月15日) 辞職(生安部)川原裕▽生活安全部長(警務部参事官)大塚龍一▽生活環境課長(いちき申木野署長)千歳隆▽志布志署長(生環境課長)川崎暢

高知県警人事(2月20日) 刑事部長(生安部)岡村稔▽生活安全部長(総務参事官)北村明彦▽警務部参事官兼教養課長(生環境課長)上村和宏

愛媛県警人事(2月21日) 退職(生安部)近藤一男▽生活安全部長(参事官兼首席監察官)船田茂▽生活環境課長(愛南署長)渡部典人▽四国中央署長(生環境課長)白石恵三

岡山県警人事(2月21日) 退職(生安部)杉本孝雄▽生活安全部長(総務統括官)石原正一▽生活安全部参事官兼生活環境課長(参事官兼通指課長)山下泰▽刑事部参事官兼捜査一課長(参事官兼生環境課長)川井伸一

奈良県警人事(2月22日) 警務部付・勇退(生安部)井岡真澄▽生活安全部長(生安部参事官兼刑事部参事官)犯罪抑止総合対策・生安企画課長(安藤修▽生安部参事官・生活安全企画課長(公計課長)高田安規

群馬県警人事(2月22日) 辞職(生安部)石井雅博▽生活安全部長(参事官兼首席監察官)桑子福一▽刑事部参事官兼捜査一課長(生環境課長)金田貴▽生活環境課長(警察庁)久住昌和

福岡県警人事(3月3日) 柳川署長(生環境課長)牧野伸剛▽生活環境課長(九州管区局)吉田俊一郎

石川県警人事(3月4日) 生活安全部首席参事官兼生活安全企画課長(大聖寺署長)毛利哲朗▽松任署長(首席参事官兼生安企画課長)遠田武司

長野県警人事(3月7日) 辞職(生安部)中澤利行▽生活安全部長(参事官兼首席監察官)酒井富雄

愛知県警人事(3月15日) 生活安全部長(中署長)神谷清寿徳▽退職(生安部)久野隆康▽保安課長(生安特捜隊長)伊藤清美▽生活安全部参事官兼生活安全総務課長(保安課長)澤井重徳

北海道警人事(3月22日) 道本生活安全部長(学校長)佐藤賢二▽旭川本部長(道本生安部)谷口茂樹▽道本保安課長(沼田署長)西脇貞幸▽旭川東署長(道本保安課長)坂井英文▽函本生活安全課長(函本理事官)浅田和則▽夕張署長(函本生安課長)近江清

▽旭本生活安全課長(岩見沢副署長)一森則雄▽釧本生活安全課長(苦小牧副署長)木村将章▽中標津署長(釧本生安課長)及川博征▽北本生活安全課長(広尾署長)松岡彰憲▽興部署長(北本生安課長)渡邊郁夫

## DATA SPOT

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	201	+1
東北	483	+3
東京	422	+5
関東	1254	+11
中部	349	+5
近畿	588	+8
中国	213	-1
四国	106	0
九州	545	+4
全国計	4161	+36

(2011年2月28日現在)

### パチスロ機は2万台増の好調ぶり

全日遊連は3月25日、店舗数、遊技機台数の2011年2月分を発表した。店舗数は前月より24店減り、昨年同月比164店減(10年2月1万1663店)と年間約150店ペースで減少を続けている。

遊技機ではパチンコ機が昨年2月と比べ、1万1823台(10年2月293万6932台)落ち込んだ。長期低落傾向のパチンコに比べ、パチスロ機は相変わらず好調で昨年同月比で2万174台増(10年2月126万2269台)と2万台の大台に乗せた。<注>店舗数および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成23年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数(当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,523	18	23	88(18)	2,931,100	1,281,729	156	4,212,985
2月	11,499	9	24	95(19)	2,925,109	1,282,441	156	4,207,706

# ぱちんこ 言葉物語

①

# 遊パチ

日常的に、当たり前前に飛び交っている「言葉」なのですが、でもその意味や成り立ちを改めて聞くのはちょっと気が引ける時があります。そんな経験のある、あなたのためのコーナーがスタートしました。題して「ぱちんこ言葉物語」。業界仲間の飲み会で「この言葉はどこから来たか知ってるかい」と語る材料にしていただけでも結構ですし、業界外の方であれば語意を知ること、この業界への造詣を深めていただければ幸いです。

さて、シリーズの第1回目は「遊パチ」です。

この「遊パチ」と言う言葉はいま広く使われていますが、誕生してからまだ5年足らずしか経っていません。2006年10月21日、22日に「手軽に安く遊べるパチンコ・パチスロ展不企

た「運営委員会」が主催し、各メーカーからコンセプト機も多数登場して注目を集めました。そしてこの展示会で「遊パチ」の名称が誕生したのです。運営委員会が「手軽に安く遊べる」遊技機の愛称を募集した結果、1万4000通を超える応募がありました。その中から選ばれ、シンボルマーク(写真)と共に世に出たのです。

このような催しが行われたのには背景があります。2004年の大当たり確率の下限改定などにより、当時射幸性の高い機械が氾濫して、ファンに大きな負担をかける状況になっていました。これに危機を感じた業界は「手軽に安く遊べるパチンコ・パチスロ」を模索しました。2005年12月



オヒョイさんこと藤村俊二さんが「遊パチ」最初のポスターに登場。右手でかざしているのがシンボルマーク

18日に東京国際フォーラムで「遊べるパチンコOPEN FORUM 2005」を開き、翌年「遊パチ」と名付けられる機種を展示し、ファンに試打を楽しんでもらいました。

## 歴史が浅いので定義が微妙

言葉が新しいだけに「遊パチ」の定義はあいまいな部分もあります。一般的には大当たり確率100分の1

ぐらいの機械、羽根物、パチスロでは一部の5号機などを指していますが、確定的には言えません。現在はメーカーが遊パチのマークをつけた機械、CRA○○機などAがついているものとしています。日工組は2010年の秋、確率100分の1を超え、出玉はすべて最大出玉の4分の1以上と決め、定義をより明確にしています。

現在は、経済不況の煽りを受け「低

## 一般公募から生まれました

貸玉営業」が一気に普及しました。しかし、声の中には「玉の消費スピードは確かに減ったけど」というものも多く、適度な射幸性の要素があって、消費スピードも抑えられた遊技機がより求められています。現在の「遊パチ」よりもさらに大当たり回数が生み出せる、いわゆる「CRAA機」が2010年5月20日に日遊協東京都・関東支部での試打会で登場しました。会場では2機種がテスト機として展示され、スペック上での平均初期投資金額は2655円。4円パチンコながら圧倒的に初期投資が抑えられる新コンセプトのパチンコ機が産声を上げました。そして2011年2月26日には「もっと楽しく!!もつと遊べる!!パチンコ&パチスロフェスタ」(日遊協主催)が開催され、それらの遊技機に新たなコンセプト機も加えて一般ユーザーに実際に試してもらい、好評価を得ました。「気楽に打てるし、勝つ快感も楽しめる」との声など、新しい遊技機は次の時代を予感させるものでした。定義が変化し続けても、「遊パチ」という言葉が生き続ける限り、パチンコ産業とファンの楽しみは健在でしょう。(広報委員会)